

岐阜県における病理検査部門の精度管理調査活動内容

◎片桐 恭雄¹⁾、大鹿 均²⁾、近藤 倫久³⁾、吉田 知代⁴⁾、前田 祐吾⁵⁾、関 敏秀⁶⁾、川合 直樹⁷⁾、日高 祐二⁸⁾

岐阜大学 医学部附属病院¹⁾、(株)東海細胞研究所²⁾、岐阜県総合医療センター³⁾、大垣市民病院⁴⁾、岐阜県立下呂温泉病院⁵⁾、岐阜・西濃医療センター 揖斐厚生病院⁶⁾、可児とうのう病院⁷⁾、東海中央病院⁸⁾

【はじめに】

岐阜県臨床検査技師会精度管理事業において病理検査部門では毎年実技を兼ねた精度管理調査を行なっている。

例年、岐阜県では特殊染色の精度管理調査を実施してきた。しかし、県内の病理検査室を有する施設は多いとは言えず、かつ特殊染色を実施していない施設もあり、参加施設数が安定しなかった。可能な限り病理検査を有する県内全ての施設が参加でき、かつ実技を兼ねる精度管理調査ができないかと解決策を模索してきた。

そこで、調査内容を切り出し～HE染色までの標本作製を行っている施設が参加できる内容に限定し、特殊染色等はオプションとしての参加とする精度管理調査を実施した。

【調査内容と参加施設数、評価判定】

平成 26 年度「脱脂処理と薄切」

施設総数：17 施設

A 評価：15 施設、B 評価：1 施設、C 評価：1 施設

平成 27 年度「脱灰処理と薄切、HE 染色」

施設総数：18 施設

A 評価：15 施設、B 評価：3 施設

平成 28 年度「筋腫の薄切と HE 染色」

施設総数：18 施設

A 評価：15 施設、B 評価：3 施設

平成 29 年度「感染症症例の HE 染色と特殊染色」

施設総数：18 施設

A 評価：15 施設、B 評価：3 施設

平成 30 年度「切り出し～診断と脈管侵襲の染色」

施設総数：18 施設

A 評価：18 施設

【結果】

病理検査の基本的工程としての固定・切り出し～HE染色までを実施している施設が参加できる内容に設定し、事前に研修会等で精度管理調査の予定している内容を伝え、参加への呼びかけを行なった。その成果として参加施設数の変動を抑えることができた。

【まとめ】

精度管理担当者変更に伴い、調査方法を見直し、参加施設の意見も取り入れ、地臨技ならではの活動を行なった。心配であった参加施設数も現在はおそらく現状最大値であろう 18 施設で安定してきている。

一方、試料の準備(選定や手続き等)に時間を要し、経費節減の中、費用負担も増加した。材料の搬送方法や倫理的手続きなど課題も多い。担当者の負担は大きくなるが、今後も工夫を凝らして安定した参加施設数を確保し、かつ有意義な精度管理調査を実施していきたい。

連絡先：058-230-7244